

# 阿蘇火山の噴火

阿蘇火山中岳第一火口は、1988年春頃から活動の兆候を見せ、1989年6月から火山灰を放出する本格的な噴煙活動が始まった。10月からは、活発な噴煙活動とともに、小規模な水蒸気爆発やこの写真のようなストロンボリ式噴火をまじえ、活動の状態は変転を続けている。写真は

11月21日、第1火口西側で、京都大学阿蘇火山研究所の田中良和氏が撮影したもので、同氏のご好意による。

2月号には、阿蘇火山博物館の池辺伸一郎氏と熊本大学の渡辺一徳氏による報告を掲載の予定。

(編集委員会)

